

令和2年度 事業報告

人口減少、超高齢社会にあつて、今後、ますます現役世代の減少が見込まれ、地域の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者のみなさんが、年齢にかかわらず能力や経験を生かした生涯現役で活躍し続ける環境づくりが重要となっています。

このような状況の下、茅野広域シルバー人材センターでは、会員に働く機会を確保・提供し、生きがいの充実、健康の維持・増進を図るほか、会員が就業等を通じて、地域の担い手や現役世代の支え手としても活躍しており、当センターに向けられる期待は一層大きなものとなっています。

令和2年度は、中期計画の最終年度であり中期計画に掲げた目標に向かって、会員が経験や技能を生かし、地域社会で活躍する場としての魅力あるセンターの実現を目指し、「事故ゼロを目指した安全・適正就業」、「会員拡大」などの重点課題から「事務局体制の強化」、「組織の活性化と会員資質の向上」を最重点課題として会員一体となって事業の推進に努めてまいりましたが、世界的規模での新型コロナウイルス感染症拡大の影響により雇用情勢をはじめ社会経済活動に大きな打撃を受け、当センターでも契約金額が大きく減少する事態となりました。

令和2年度の業務実績を見ると、請負の契約金額は、約2億9千5百万円で前年度より約4千3百万円の減となりました。また、派遣の契約金額では、約3千9百万円で前年を約1百万円下回り、請負と派遣の合計金額では、約3億3千万5百万円となりました。

安全就業につきましては、「事故ゼロ」を重点目標の第一に掲げて取り組んでまいりましたが、今年度は11件の事故が発生し、前年度の7件を大きく上回り大変残念な結果となりました。事故防止につきましては、機会あるごとに会員の皆様方に取り組みの周知を図り、安全意識の高揚に努め、事故ゼロを目指してきましたが、今後さらに会員一人ひとりがもう一度安全に対する心構えをしっかりと持ち、意識して就業していただくことが必要です。

また、会員拡大につきましては、全シ協が策定した「第2次会員100万人達成計画」と当センターの中期計画に掲げる目標会員数に向けて、「一人一会員入会活動（ともだち作戦）」の取り組みを進めてまいりました。全国的に会員が減少している中で、平成27年度から少しずつ増加してきましたが、今年度末の会員数は646人となり、前年度末の会員から3人減少することになりました。

以下、令和2年度の主な事業を報告いたします。

主な業務実績

* 事業受注件数	請負	2, 535件	前年比 ▲	689件
	派遣	23件	前年比 +	2件
* 契約金額	請負	295, 988千円	前年比 ▲	12. 8%
	派遣	39, 509千円	前年比 ▲	3. 3%
* 会員数 (3月31日現在)		646人	前年比 ▲	3人

主な事業報告

○総会

令和2年度定時総会を5月29日(金) マリオローヤル会館開催しました。
出席者33名、委任状500名、合計533名

- 1) 令和元年度事業報告の承認について
- 2) 令和元年度決算の承認について
監査報告
- 3) 役員承認について
以上が提案され、全て原案どおり承認されました。
報告事項は次のとおりです。
- 4) 補正予算の報告について
- 5) 令和2年度事業計画の報告について
- 6) 令和2年度収支予算の報告について

○理事会

令和2年度は9回の理事会を開催しました。事業等の実施状況報告、正会員の入会承認、適正就業と会員確保、シルバー派遣事業への対応等、センターの運営全般の基本的事項に関することなどを審議、協議いたしました。

○監査会

令和2年10月に4月から9月までの上半期の監査をして頂きました。また、令和3年4月には定時総会に提案する令和2年度事業報告、決算について監査して頂き、適正な執行であると認めて頂きました。また、理事会に出席し、事業執行について意見を述べていただきました。

○専門委員会事業報告

1. 総務委員会

新型コロナウイルス感染症の影響により、下記事業を変更や中止にしました。

- ・ 定時総会 : 委任状による議決権行使
- ・ シルバーフェア : 中止 (生活・安全講和を兼ねる)
- ・ 合同地域班会議 : 中止
- ・ 地域班自主活動 : 中止

(1) 組織市町村首長との懇談会

10月、11月に茅野市・富士見町・原村において市町村長との懇談を実施し、助成金の継続と従来同様に各種事業や要望に対しご配慮をいただくと共に、会員の就業を通じての『気づき提案』を受け入れていただくことを快諾いただきました。次年度以降、具体的な活動に結び付けてまいります。

(2) 組織活動活性化に向けた取組み

・ 中間事業報告

本来であれば、合同地域班会議を通じて報告を行うべきところですが、本年度は感染症の予防対策として、郵送による配布といたしました。

- ・ 地域班独自の活動も感染症拡大予防のため、実施できませんでした。
- ・ 組織活動活性化に向け4項目の横断的な活動を理事会に提案しました。

理事の活動 委員長交流 入会説明会 情報伝達方法

(3) 高齢者活躍人材確保育成事業

- ・ 訪問型サービスA 講習会 9月および2月 参加10名

事業者指定が完了し、令和3年4月より事業を開始予定。

- ・ 『からだの衰え度チェック』 10月実施
一般市民を中心に100名に参加いただきました。

(4) シルバーショップつどいの連携活動

感染症の影響により活動の縮小を余儀なくされましたが、9月より土曜日は交流を目的とした開放日とし、趣味の教室等の各種行事を女性会員主導で運営しました。

今後も各種の行事を開催しますので、多くの方の参加をお願いします。

2. 就業委員会

令和2年度の活動は、事業計画に基づき下記の通り展開して参りました。

会員拡大については、新型コロナウイルス感染症影響により、入会説明会をはじめとする各種PR活動において、序盤での諸活動中止を余儀なくされたこと、また高齢会員の行動自粛や体調不良等による退会者加速など、想定外の要因発生により会員目標700名

に対し、残念ながら前年比-3名の646名で終了致しました。(目標比-54名)

就業公平化、適正化については、プラスワン作戦を計画し取り組みましたが、結果的には現行就業体制維持が精一杯の状況となりました。

また、就業先拡大については、コーディネーターとの連携によりスムーズな就業要員確保が出来つつあること、個別企業訪問等による新規業務開拓・就業先確保等の成果が出始めたこと等、今後の就業先拡大に期待が持てる状況となって参りました。

(1) 委員会開催結果

- ①毎月第3金曜日定例開催 実施回数9回(計画数12回)
 - ・4月、5月、6月の3回はコロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 事業計画実施結果

- ①コーディネーターとの連携による就業ニーズにあった会員確保と就業先開拓
 - ・令和2年度会員目標数700名 ⇒実績646名(対前年比-3名、対目標比-54名)
 - ・入会説明会開催計画12回 ⇒実績9回(コロナ影響により未実施4~6月3回)
 - その他、必要に応じ茅野事務所、富士見事務所、原事務所それぞれ個別対応実施
 - ・新規入会者 入会説明会参加者106名 ⇒入会者81名(入会率76.4%)
 - ・新規派遣事業拡大5社 新規請負事業開拓5社
 - ・入会キャンペーン実施(4月~7月) 入会紹介者11名
 - ・コーディネーターとの就業情報共有及び新入会員へのアプローチ体制確立
- ②会員増強に向けた入会説明会内容の充実
 - ・説明会内容及び資料見直しを実施しテキスト完成
 - ・03年度4月開催の入会説明会より活用開始
 - ・会員適応職種のリスト化について「入会申込書兼会員票」に基づくデータ活用
- ③プラスワン作戦による就業の公平化・適正化
 - ・未就業期間1年以上の会員への声掛け及び就業紹介実施
 - ・就業適正化のための体制整備実施2社
- ④お客様満足度調査
 - ・過去十数年に渡るアンケート結果よりお客様満足度に関して90%以上を確保出来ている状況にあり今年度の調査は行わない
 - ・今後は、お客様との日々直接対話を重視し、更なる満足度向上を目指す
- ⑤長期会員継続を促進する取り組み
 - ・現行の5年表彰に加えた新たな年数表彰制度の見直しは行わない
- ⑥その他未実施内容
 - ・お友達作戦、技能向上に向けた各種講習会、会員資質向上、発注者との長期業務継承構築、グループ編成見直し、ゴールド会員・プラチナ会員制度、等に関する取組みに関して、コロナウイルス感染症対策影響等により未実施

3. 安全委員会

会員の安全・安心な就業に向けて、会員の意識高揚と事故防止策の検討を行い『事故ゼロ』を目指して活動を行いました。

就業現場をパトロールして安全指導を実施、また、事故発生時の原因究明と再発防止策を検討し対象となる会員に向け周知しました。

飛び石事故防止対策として、飛散防止ネットの使用推進と草刈り刃の検討、上下回転式草刈り刃の導入に取り組みましたが、飛び石事故の減少につながっていません。

コロナウイルス感染症拡大防止のため各種行事が縮小され、計画等の周知が十分にできませんでした。

(1)安全委員会の取組み

草刈り機による飛び石事故防止策の検討を行いました。

- 主な内容
- ①事故防止に向けたチラシを作成し、草刈り会員へ配布しました。
 - ②会員50名に石飛の少ないテスト用刈刃を配布して、使用状況を報告いただき導入について検討しました。
 - ③各事務所に備えてある飛散防止ネットの活用を、周知しました。
 - ④ナイロン刃による事故が多いので、住宅地及び車の通る近くでは使用しないこととしました。

(2)就業現場のパトロールについて

8月～10月を「安全就業強化月間」と定め安全パトロールを実施しました。

- ・県パトロール 茅野地区剪定場所で開催しました。指摘事項はありませんでした。
 - ・茅野地区 事故発生場所を確認し、事故原因と事故防止対策の検討を行いました。事故発生者に事故防止に向けた調査を実施しました。
 - ・富士見地区 草刈り現場で、安全作業に向け作業方法、取り組みを確認しました。
 - ・原地区 草刈り現場で、安全作業に向け作業方法、取り組みを確認しました。
- 合計3現場の安全パトロールを実施、各現場とも指摘事項はありませんでした。

(3)長野県シルバー連合会の指導パトロールについて

8月5日 安全・適正就業推進パトロールを実施

県シ連から青木様、内田様の2名が来場、茅野地区玉川神之原の剪定現場を巡視、反省会では、指摘事項はありませんでした。

(4)安全標語について

本年度は22点の標語が応募され、1月理事会で厳正に審査して優秀作品1点、佳作2点、安全委員会賞1点が決まりました。

(5)事故の発生状況

賠償事故9件、交通事故2件計11件発生しました。

- ・賠償事故は草刈飛び石7件・見守り中1件・宿直業務1件となっています。
- 交通事故2件（派遣就業1件、請負就業1件）となりました。

(6)刈刃と防護ネットについて

刈 刃 石飛の少ない刈刃を草刈り関係者に試し刈り試験をしていただき、切れ味等の感想データを提出してもらい、データ集計整理を行いました。

各事務所に上・下回転式草刈り刃(替刃付き)を配備、活用をお願いしました。

防護ネット 茅野広域シルバーの3事務所へ配備されています。現在使用頻度は少ない。

今後、危険と判断したら防護ネットの使用をお願いしました。

(7)県シ連開催の研修会や安全・適性就業推進大会について

コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

(8)安全就業ニュースについて(全シ協発行資料)

事故状況、特に死亡事故、重篤事故の記載内容を理解し、パトロールの際に活用しました。

◎令和2年度 「安全・適正就業対策推進の重点目標」

目標 “危険ゼロ”

◎安全標語

全シ協 安全就業統一スローガン

『いつまでも、働く喜び、無事故から』

◎令和2年度茅野広域シルバー人材センター標語審査

優 秀 賞 『慣れ作業 安易な気持ちで 事故のもと』・・・北原 誠一
佳 作 『点検は、怠ることなく、自分の手で』・・・小林 朝治
佳 作 『安全は 心と時間の ゆとりから』・・・金子 治代
安全委員会賞 『安全は 目配り 気配り 気づきから』・・・雨宮 泉

4. 広報委員会

(1) 会報「シルバー茅野広域」、第69号・70号を発行しました。

『社会情勢の厳しい現状の中で、新規事業開拓と新しい総合事業への取組に向け、その担い手となる女性会員の拡大と、事故ゼロ等を目指したい』、との宮坂理事長の熱いメッセージと共に、総務・就業・安全の各委員会の活動状況を掲載しました。また、就業現場で活躍する会員のいきいきした様子をお知らせするとともに、会員とセンター相互の理解が深まるよう努めました。

(2) 「八ヶ岳山麓だより」、第25号・26号を発行しました。

コロナ過で、行事が縮小している中、皆さまにご協力いただき掲載記事の提供をいただきました。掲載内容は、刈払い機の飛び石事故の注意喚起、総合事業の状況報告、ワークプラザ(つどい)の行事、コロナ禍での案内、お知らせ、確認事項等を中心に、会員への情報発信に努めました。

(3) 地域公共施設等への会報「シルバー茅野広域」の配置等を通じ、茅野広域シルバー人材センターのPR活動に努めました。